

## 不正性器出血について

不正性器出血とは、月経以外の女性性器からの出血のことです、少々下着が汚れる程度から、出血性シヨックを来す程大量に出血することもあります。さまざまな疾患の初期症状であることが多いため、その量の多少に関わらず、女性の健康を預かる産婦人科医にとって、決して見過ごすことのできない症状の一つです。

一度に大量出血をした場合は、命の危険を感じて自ら産婦人科を受診する人が多いため、さまざまな診断方法を駆使し、適切な対応を図ることで最悪の事態を免れることもできますでしょう。しかしながら、悔えることができない症状は、むしろ少量から中等量の不正性器出血です。もともと出産関連以外で産婦人科を受診することは一般の女性にとってかなり敷居が高いことであるため、受診が遅れがちになります。

不正性器出血の問題点は大きく2つあります。一つは出血に

より貧血を引き起こすこと、もう一つは出血の原因が悪性腫瘍の場合があることです。

まずは貧血ですが、慢性に進行する貧血の場合、症状がかなり高度になるまで臓器がそれぞれに順応してしまつたため、自覚症状が出にくく、病院を受診したときには腎不全、心不全といった重篤な状況に陥っていることすらあるので注意が必要ですよ。

そして忘れてはならないのが悪性腫瘍からの出血の場合です。量はごく少量の茶褐色のオリモノが下着に付着する程度の場合もあるので、見過ごすことなく、早めに産婦人科を受診してください。

どちらの場合も早期に受診することです、その後の健康に支障を来たすことなく治療できる可能性が高くなります。

まずは、気軽に産婦人科の門戸を叩き受診することをお勧めします。